

バスケ女子

23～28日・東京

秋田北

(初出場)

全国で輝け

大舞台に挑む本県高校チーム

②



さがけ動画



初のウインターカップに向け、練習に打ち込む秋田北の選手＝同校体育館

番	位置	氏名	出身中	身長(センチ)
4	◎SF	藤里 桜(2)	秋大付	168
5	C	加藤 彩笑(2)	秋田北	172
6	PF	高橋 実美(2)	大曲	166
7	PG	鈴木 菜奈(3)	土崎	163
8	SG	安田 みのり(3)	秋田東	159
9	SG	中田 小麦(2)	勝平	159
10	SF	正木 陽華(2)	大内	168
11	PG	阿部 愛実(2)	城東	154
12	SG	澁谷 小桜(2)	外旭川	162
13	SG	永田 朱音(1)	秋田東	155

(丸数字は学年、◎は主将)



粘り強いディフェンスからの速攻が生命線。県予選では準決勝で12連覇中の湯沢翔北を破り、勢いに乗って全国高校選手権(ウインターカップ)初出場を決めた。吉田美緒監督は「やってきたことを40分間続けられたのが優勝につながった。同じように守備で我慢しながら、攻める気持ちも忘れずに向かってほしい」と

粘り強い守備から速攻

期待を込める。
今春就任した吉田監督の下、ディフェンスを徹底的に磨いてきた。1対1の局面では接触を恐れず体を当て、相手のスピードを落としてコースを限定することを意識。ボール保持者に対し運動した守備でターンオーバーを誘う。

県予選ではリバウンドやルースボールへの強さが光ったが、全国の舞台では体の大きな選手がひしめく。特にリバウンドでの主導権争いは勝敗を大きく左右するだけに、Wリーグのアランマーレ秋田、社会人バスケの秋田銀行に胸を借りながらレベルアップに励んでいる。

チーム最長身はセンター加藤彩笑(2年)の172センチと高さでは分が悪い。加藤とともにゴール下での役割を担うフォワード伊藤里桜主将(同)は「ただやるだけじゃ絶対に奪えないので、必ず相手に体を当ててから取りに行くことや足の使い方が分かってきた」と手応えを口にす

しい時間帯もあると思うが、そういう時こそ自分が勝負にいききたい。シュートから逃げずにいけば、フリーになる味方の選手も生まれる」と見据える。
1回戦で対戦する京都両洋(京都第2)も初出場。前からの激しいディフェンスでリズムをつくるのが特徴で、スタイルは似ている。吉田監督は「足を止めずに動き続けることが一番大事。相手が嫌がるコンタクトを続けられれば、きつかけはつくれる」。泥くさく立ち向かい初勝利を狙う。

(間杉大旗)